

その時どう動く？

住職 福島伸悦

中国に滄山靈祐という禅僧がおり、そのお弟子に仰山慧寂と香巖智閑がいました。ある時、師匠の滄山が昼寝をしていると一番弟子の仰山が訪ねてきました。寝ている様子を見て、帰ろうとしたとき、「わしは今夢を見ていたよ。仰山、わしの為に夢判断をしてくれないか」と問いかけてきました。すると、仰山は黙って洗面所へ行き、水を入れた洗面器と手拭いをお盆に載せて持って来て、部屋を出ていきました。師匠は、顔を洗い手拭いで拭くと、間もなく、二番弟子の香巖がやってきました。「おお、香巖、いい所へ来た。今までここに仰山がいて、わしと素晴らしい〈神通〉をやっていたよ」というと、香巖は即座に次の間に戻り、一服のお茶をたてて師匠に差し上げました。

このお話は、禅問答と言って、師匠が弟子に対して本来の自己を問いかけ、力量を試すものです。本来の自己というのは、相対的分別を超えた自己のことです。そこには損得、善悪という人間の計算を一切やめたときの自分のことです。仰山も香巖も具体的な行動で以って師匠の問いに答えたのです。大事なことは、「そのときどう動く？」か、です。

さて、今、オリンピックを目の前に、コロナウイルスの変異株が流行して、第5波を迎えています。ああだこうだと無意味な議論ばかりしていないで、コロナに感染しないようにして、オリンピックを応援するようにしたいと思うのですが……。コロナ感染の原因がある程度わかってきたのですから、不要不急の外出は控え、人との接触を少しでもなくすように心がけるとか、一人一人の自覚によってできる事なのです。無観客になってしまったのは残念なことです。もう少し日本全体で応援するような雰囲気作りをしてもいいのではないかと思います。色々な意見があることは承知していますが、シンプルに考えてもいいのではないかと思います。もうオリンピックをやることに違いないのですから、コロナ対策をしっかりして、選手の人たちを応援しましょう。